

南海高野線で踏切の遮断棒が上昇した状態で列車が通過した件につきまして

本日16時23分ごろ、高野線の三国ヶ丘～百舌鳥八幡駅間の三国ヶ丘1号踏切道におきまして、踏切の遮断棒が上昇した状態で列車が通過する事象が発生しました。

当該踏切道をご通行されていた方をはじめまして、当該列車にご乗車されていたお客さまや、関係する皆さまにご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫びいたしますとともに、再発防止に努めてまいります。詳細は以下の通りです。

1. **発生日時** 2021年5月24日(月) 16時23分
2. **発生場所** 高野線 三国ヶ丘1号踏切 (大阪府堺市堺区向陵中町二丁6-5先)
3. **当該列車** 和泉中央駅(16時6分)発 難波駅行き 区間急行 8両編成
※三国ヶ丘駅通過列車 ※約150名がご乗車
4. **概況** 16時23分ごろ、当該列車の運転士が三国ヶ丘1号踏切を通過する際、一旦下がった遮断棒が上昇し、自動車と同踏切道を横断していることに気付き、直ちに非常ブレーキを操作するとともに警笛を鳴らしましたが、当該列車は同踏切を約60m通過して停止しました。なお、自動車とは接触しておりません。
※踏切をご通行中の方、列車にご乗車のお客さまにお怪我はありませんでした。

なお、当該列車以降、同踏切が正常に動作することを確認できるまで列車を一旦停止させ、安全を確認した後に通過させておりましたが、正常に動作することが確認できたので、18時3分から通常運転に復しました。

5. **原因** 列車が在線することを検知する軌道回路の部品を交換している際に、その設定に誤りがあり、列車が在線していない状態を示したことから、当該列車が接近しているにもかかわらず、踏切の遮断棒が上昇したものです。

以上